

 <p>JWRC 水道ホットニュース</p>	<p>(公財)水道技術研究センター 〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-28 K. I. S 飯田橋ビル 7F TEL 03-5805-0264, FAX 03-5805-0265 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
--	---

米国の水道事業における サプライチェーン問題への対応 (その2)

3. WaterISAC (水情報共有・分析センター) について

上下水道分野のセキュリティネットワーク

米国の上下水道分野における主要な協会および研究財団は、米国環境保護庁¹と協力して、2002年に水情報共有・分析センター (WaterISAC : Water Information Sharing and Analysis Center) を設立した。同年、同センターはバイオテロ法により議会で承認された。WaterISACは、水分野調整協議会の指定を受けた情報の共有および運用部門である。

WaterISACの独自性は会員数の多さにあり

WaterISACは、上下水道分野における唯一の全脅威に対するセキュリティの情報源であり、数百の水道事業者やその他組織における2,600人の関係者にサービスを提供している。WaterISACの会員事業者は、米国のほとんどの地域における上下水道事業を担っている。WaterISACは、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの水道事業者にも会員サービスを提供しており、イギリスとオランダの団体もWaterISACの会員になることができる。

上下水道事業者のほか、州・連邦政府機関、法執行機関、情報機関、国土安全保障機関、コンサルティング・エンジニアリング企業、事業者から成る協会などが会員として名を連ねている。

水道関係団体の所有・運営する非営利団体

WaterISACは非営利団体であり、上記のパートナー団体から任命された上下水道事業者の管理者および州の飲料水管理者から構成される管理者委員会によって運営されている。水分野に貢献するために設立されたWaterISACは、水分野のニーズを理解し、支援するユニークな立場にある。

上下水道分野のセキュリティとレジリエンスを支援するために多様な情報源を活用

WaterISACは、政府内のパートナーと安全かつ緊密な連絡を取り合い、機密性の高いセキュリティ情報にアクセスできる体制を整えている。WaterISACは、米国国土安全保障省のサイバーセキュリティ・インフラセキュリティ庁、FBI、米国環境保護庁、州情報融合センター、その他の連邦・州機関と双方向のコミュニケーションを取っている。また、全米ISAC協議会を通じて、他の20以上のISAC、特にElectricity ISACと協力している。また、セキュリティの専門家、上下水道分野のパートナー、ニュースメディア、そして会員団体から情報およびリソースを収集している。

分析と要約で時間を節約し、セキュリティを強化する

¹ 米国環境保護庁 : United States Environmental Protection Agency

WaterISAC は、水の安全保障と意図的な汚染、テロ、サイバー犯罪の脅威に関するデータ、事例、分析について最も包括的かつ一元的な情報源である。WaterISAC はまた、対応、緩和、および回復の取り組みを支援するための分析およびリソースと、顧客のセキュリティ強化を目的とした即座に利用できるタイムリーかつ実用的な情報を提供する。

4. 米国における塩素サプライチェーンの混乱

発表日：2021年7月6日

6月30日、米国環境保護庁長官マイケル・リーガンは、化学分野の関係者に書簡を送り、薬品製造業者やサプライヤーに対し、上下水道事業者向けの塩素やその他の水処理薬品の出荷を優先させるよう促した。この要請は、多くの州で塩素製品の生産と流通に影響を及ぼす不可抗力の事態が相次いでいる中で行われた。書簡では、米国で消費される塩素の5%未満が上下水道事業で使用されていると指摘したうえで、「水道や下水道のサービスが失われれば、たとえ短期間であっても、病院、製造業、政府施設、個人事務所、レストランなど、地域社会の維持に必要とされる重要なサービスに連鎖的な影響が及ぶだろう」と述べている。リーガン長官はまた、サプライチェーンへの潜在的な影響の特定と対処を支援するため、「水部門と化学部門のオープンなコミュニケーション」を呼びかけ、2021年の大西洋ハリケーンシーズンが薬品製造業者に与える影響を考えると、こうしたコミュニケーションの重要性は特に高いと述べた。

最近の出来事

- ・2021年6月1日：ウェストバージニア州ナトリウムにある Westlake Chemical 社の塩素アルカリ施設が、重要な処理装置の突然の予期せぬ故障により、直接的な影響を受けた。
- ・2021年6月9日：ワシントン州ロングビューの Westlake Chemical 社の施設で、電気設備が故障したことにより、塩素、塩酸、水酸化ナトリウムが不足した。生産は6月23日に再開された。

(出典) <https://www.waterisac.org/portal/fema-hazus-team-releases-new-and-updated-risk-assessment-tools>

5. あらゆる不測の事態におけるサプライチェーンの回復力の確保

発表日：2022年2月10日

2021年、COVID-19のパンデミックに端を発したサプライチェーンの混乱は、世界中の産業に影響を及ぼした。上下水道部門もこの影響を受け、一部の物資へのアクセスが減少したため、多くの事業者が事業の調整を余儀なくされた。実際、今年の夏、WaterISACは、多くの事業者に影響を与えた塩素のサプライチェーンの中断について報告した。さらに、米国水道協会による最近の調査によれば、水道事業者の72%が水道管やその他のインフラ部品の入手難に直面している。また、45%以上が電子機器や化学薬品の購入に支障があると報告している。

こうした混乱に明るい兆しが見えてきたのは、事業者が複数の事態を想定してサプライチェーンの混乱を計画・準備することで、全体的な回復力を高める機会を得たからである。したがって今後、事業者は、リスクを特定し、あらゆる破壊的な不測の事態に備えて事前に計画を立てるための積極的な措置を講じることができる。いくつかのステップには、企業資産管理（EAM）システムや資産投資計画（AIP）ソリューションなどの資産管理ソフトウェアの採用が含まれ、リスクと保守活動の優先順位付け、供給路の多様化、経費節減に役立てることができる。また、組織は需給傾向を把握し、現在の市場の実態に基づいて追加供給品の発注計画の時間枠を調整する必要がある。最後に、電力会社はサプライチェーン戦略をテストし、予期せぬ不測の事態が発生した場合でも業務を継続できるように

すべきである。

(出典) <https://www.waterisac.org/portal/ensuring-supply-chain-resilience-all-contingencies>

6. サプライチェーンの回復力の強化：米国環境保護庁が薬品サプライチェーンツールをリリース

発表日：2022年3月1日

米国環境保護庁の水安全部門は、上下水道事業者が薬品サプライチェーンの弾力性を高めるための無料オンラインツールを公開した。この新しいプログラムである水処理薬品供給業者および製造業者検索ツールは、GeoPlatformでホストされており、上下水道事業者は、薬品の供給ニーズを満たすことができる可能性のある米国内の供給業者および製造業者を検索し、サプライチェーンの中断を防ぐのに役立てることができる。このツールは、昨夏に発生した塩素サプライチェーンの中断のような事態に、事業者が代替の薬品サプライヤーを探す際に有益であり、事業者が複数の不測の事態に対する回復力を強化するための重要な新手段となるものである。本ツールは[米国環境保護庁のウェブサイト](#)から入手できる。

(出典) Strengthening Supply Chain Resilience - EPA Releases Chemical Supply Chain Tool
<https://www.waterisac.org/portal/strengthening-supply-chain-resilience-epa-releases-chemical-supply-chain-tool>

(担当) 調査事業部主任研究員 高橋 邦尚

〃 研究員 宇田川 知穂

配信先変更のご連絡等について

「JWR C水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S飯田橋ビル7F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-r3.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。